

2011年3月期第2四半期決算説明会

2010.11.25

NIPPON YAKIN

日本冶金工業株式会社

本日のアジェンダ

1. 2011年3月期第2四半期決算サマリー

常務取締役経理部長 久保田 尚志

2. 足元の状況と高機能材への取り組み

代表取締役社長 杉森 一太

＜参考＞主要データ(連結ベース)

2011年3月期第2四半期決算のポイント

➤ 四半期としては2年ぶり(2009年3月期第2四半期以来)の経常黒字に転換

- ① 売上(受注)は、堅調な経済発展を続ける中国、東南アジア諸国等の海外市場を中心に概ね順調に回復。高機能材部門を中心に需要が比較的旺盛な海外での販売活動を積極的に展開。
- ② 利益面では、8月からの急激な円高進行が輸出採算を圧迫したが、原料価格に見合う販売価格形成と製造コスト削減の取り組みにより、営業黒字を計上。経常損益は前年同期比大幅改善。
- ③ 下期は、中国やインドをはじめとした新興国や資源国経済の成長は引き続き底堅いと予想されるが、急激な円高進行によるわが国経済の減速懸念や不安定な原料相場などもあり依然楽観を許さない情勢。
- ④ こうした情勢の中で、不断のコストダウン努力と原料価格に見合った販売価格形成や海外需要獲得など諸施策を継続することにより、通期での経常黒字化を目指す。

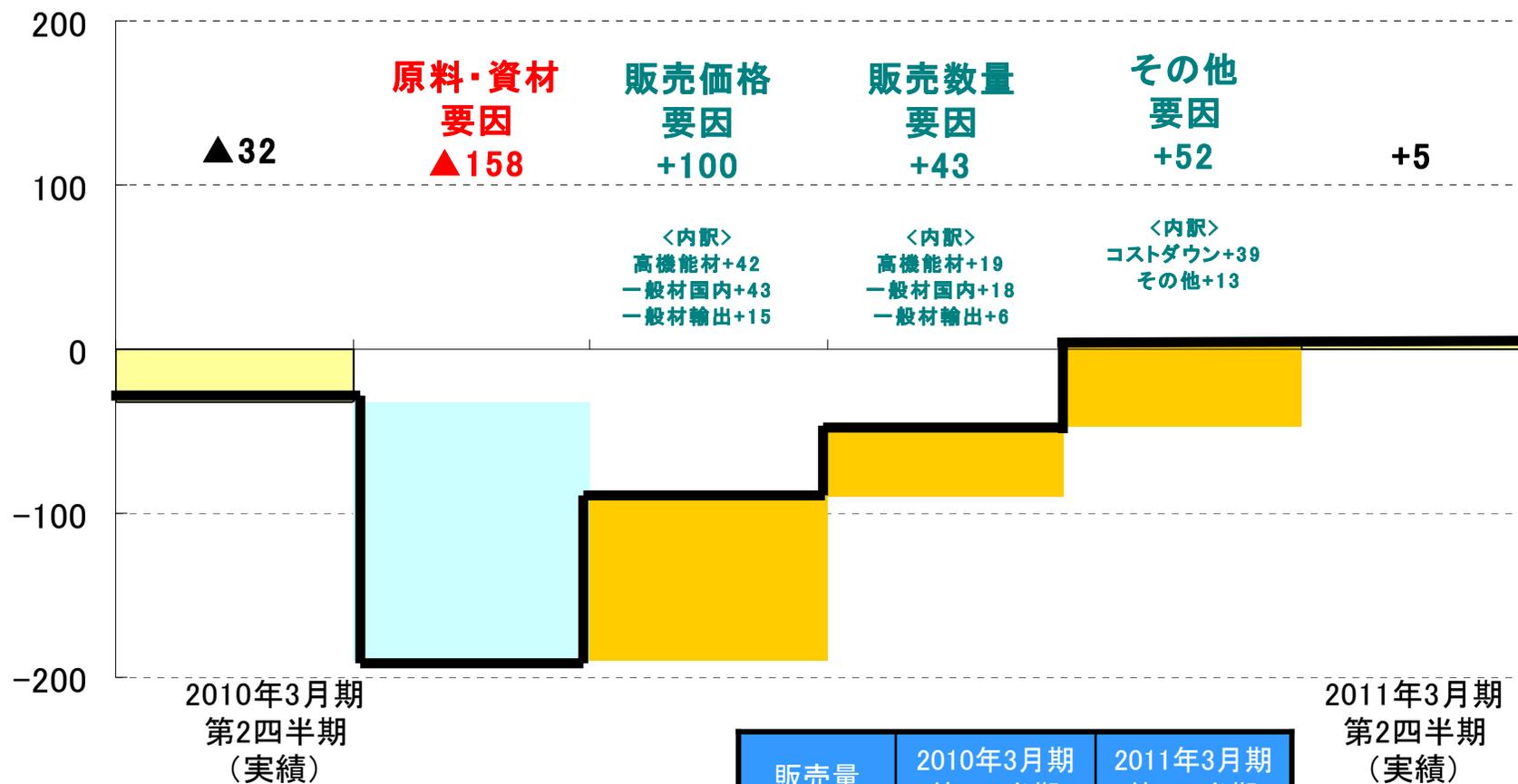
損益計算書 連結 概要

	2010年3月期 第2四半期 累計実績 (億円)	2011年3月期 第2四半期 累計実績 (億円)	前年同期比 (億円)	前年同期比 (%)	(ご参考) 2010年3月期 通期実績 (億円)
売上高	440	687	247	56.2	973
営業利益	▲ 32	5	37	-	▲ 53
経常利益	▲ 40	▲ 2	38	-	▲ 66
当期純利益	▲ 26	▲ 13	13	-	▲ 126
ROA(%)	▲ 4.2	0.8			
自己資本比率(%)	36.3	28.2			
高機能材部門 売上高比率(%)	26.1	31.6			

(注)ROAは(営業利益+受取利息・受取配当金)／期初・期末平均総資産×2

(ご参考)ニッケルLME期中平均価格:2010年3月期上期6.94US\$/Lb、2011年3月期上期9.90US\$/Lb。

営業利益変動の要因分析(前年同期比較:億円)



販売量 (千トン)	2010年3月期 第2四半期 累計(実績)	2011年3月期 第2四半期 累計(実績)
一般材	89	124
高機能材	12	20

貸借対照表 連結 概要

	2010年3月末 (億円)	2010年9月末 (億円)	前期末比 増減(億円)	2010年3月末 構成比 (%)	2010年9月末 構成比 (%)
現金・預金	73	67	▲ 6	5.1	4.6
売掛債権	200	232	32	14.0	15.7
たな卸資産	259	307	47	18.1	20.8
その他流動資産	22	8	▲ 14	1.5	0.6
固定資産	874	859	▲ 15	61.1	58.3
【資産合計】	1,429	1,474	44	100.0	100.0
借入金・社債	599	640	42	41.9	43.5
その他負債	390	412	22	27.3	27.9
【負債計】	989	1,052	63	69.2	71.4
【純資産計】	440	422	▲ 19	30.8	28.6

キャッシュフロー計算書 連結 概要

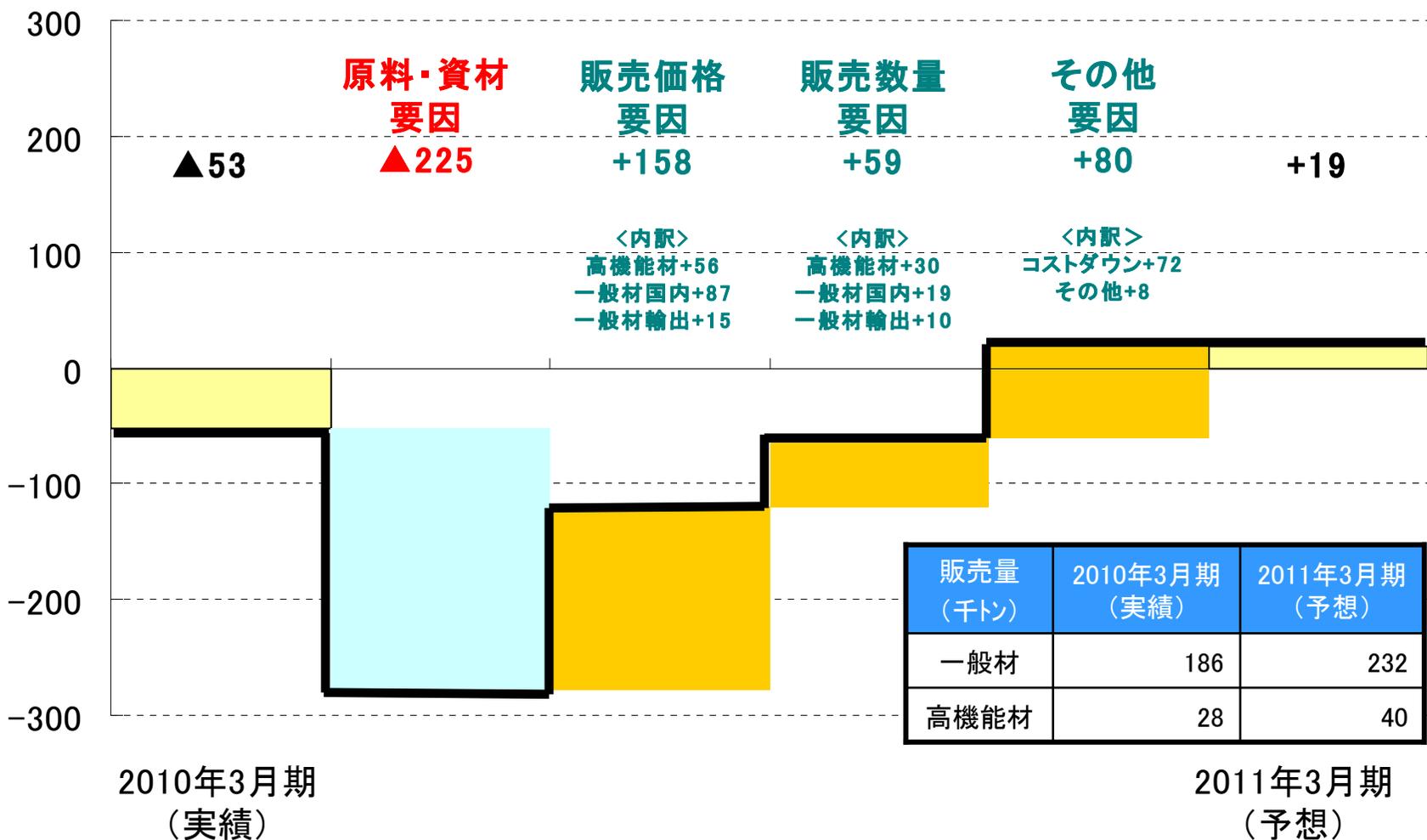
	2010年3月期 第2四半期 累計実績(億円)	2011年3月期 第2四半期 累計実績(億円)	前年同期比 (億円)	(ご参考) 2010年3月期 通期実績(億円)
営業活動によるキャッシュフロー	12	▲ 32	▲ 45	▲ 10
税金等調整前中間(当期)純利益	▲ 42	▲ 2	40	▲ 99
減価償却費	28	29	0	57
売上債権の増加額(△)又は減少額	15	▲ 32	▲ 47	▲ 13
たな卸資産の増加額(△)又は減少額	4	▲ 47	▲ 51	▲ 11
仕入債務の増加額又は減少額(△)	▲ 15	11	26	14
法人税等の支払額	21	▲ 4	▲ 24	21
その他	1	13	12	21
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 12	▲ 10	1	▲ 27
有形・無形固定資産の取得による支出	▲ 14	▲ 13	1	▲ 26
その他	2	2	0	▲ 2
フリー・キャッシュフロー	1	▲ 43	▲ 43	▲ 37
財務活動によるキャッシュフロー	16	39	23	28
長短借入金の増加額又は減少額(△)	20	42	21	17
その他	▲ 4	▲ 3	1	11
現金及び現金同等物の増加額又は減少額(△)	17	▲ 4	▲ 21	▲ 9

2011年3月期連結業績予想

	2010年3月期	2011年3月期		
	通期実績 (億円)	今回予想 (億円)	前年比 (億円)	前年比 (%)
売上高	973	1,330	357	36.6
営業利益	▲ 53	19	72	-
経常利益	▲ 66	5	71	-
当期純利益	▲ 126	▲ 11	115	-

(前提)2011年3月期下期平均価格：10.50US\$/Lb、為替レート 82.0 円。

営業利益変動の要因分析(前期比較:億円)



本日のアジェンダ

1. 2011年3月期第2四半期決算サマリー

常務取締役経理部長 久保田 尚志

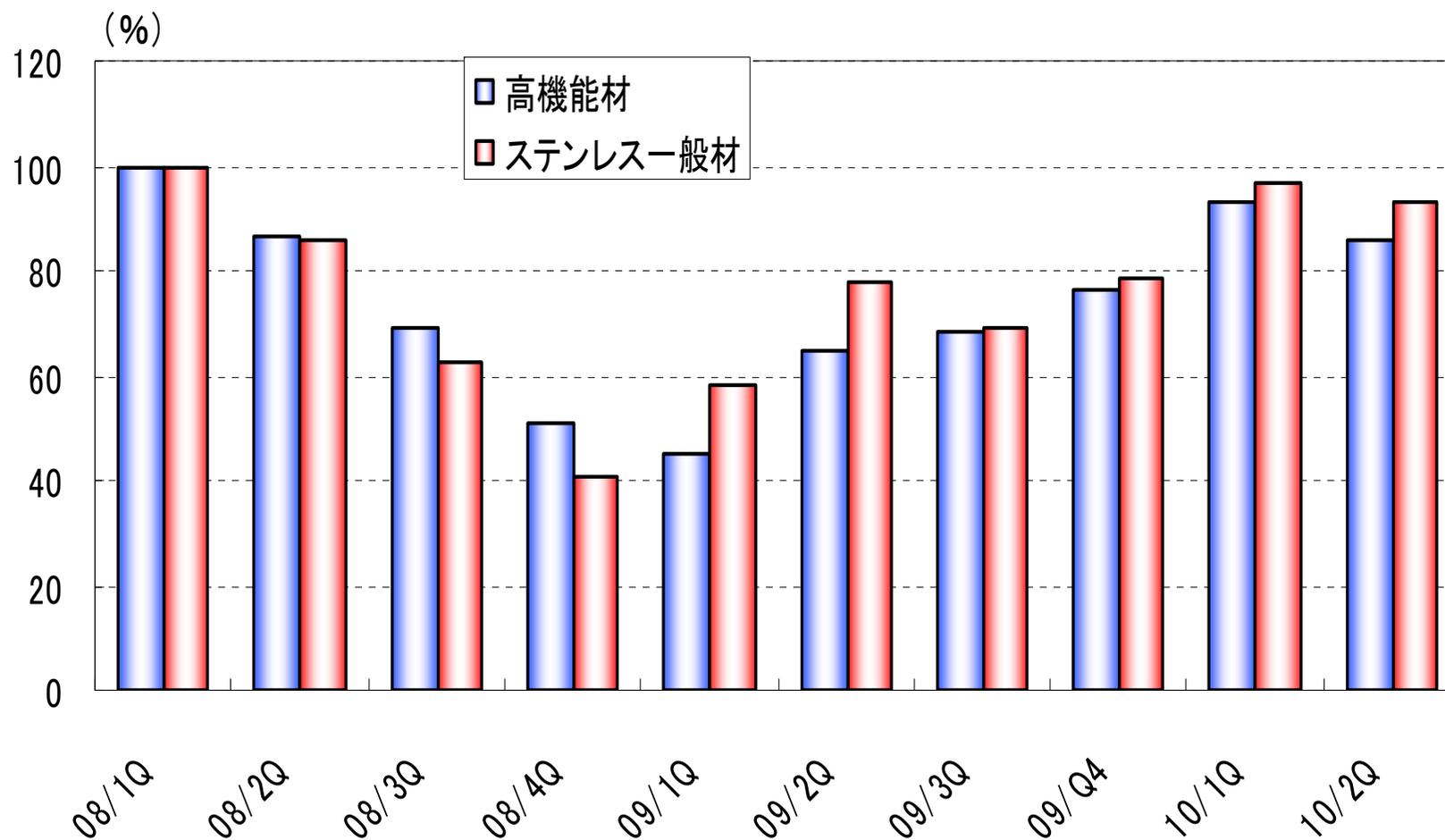
2. 足元の状況と高機能材への取り組み

代表取締役社長 杉森 一太

＜参考＞主要データ(連結ベース)

販売量(四半期毎)

▶ ステンレス一般材・高機能材とも1Qから微減

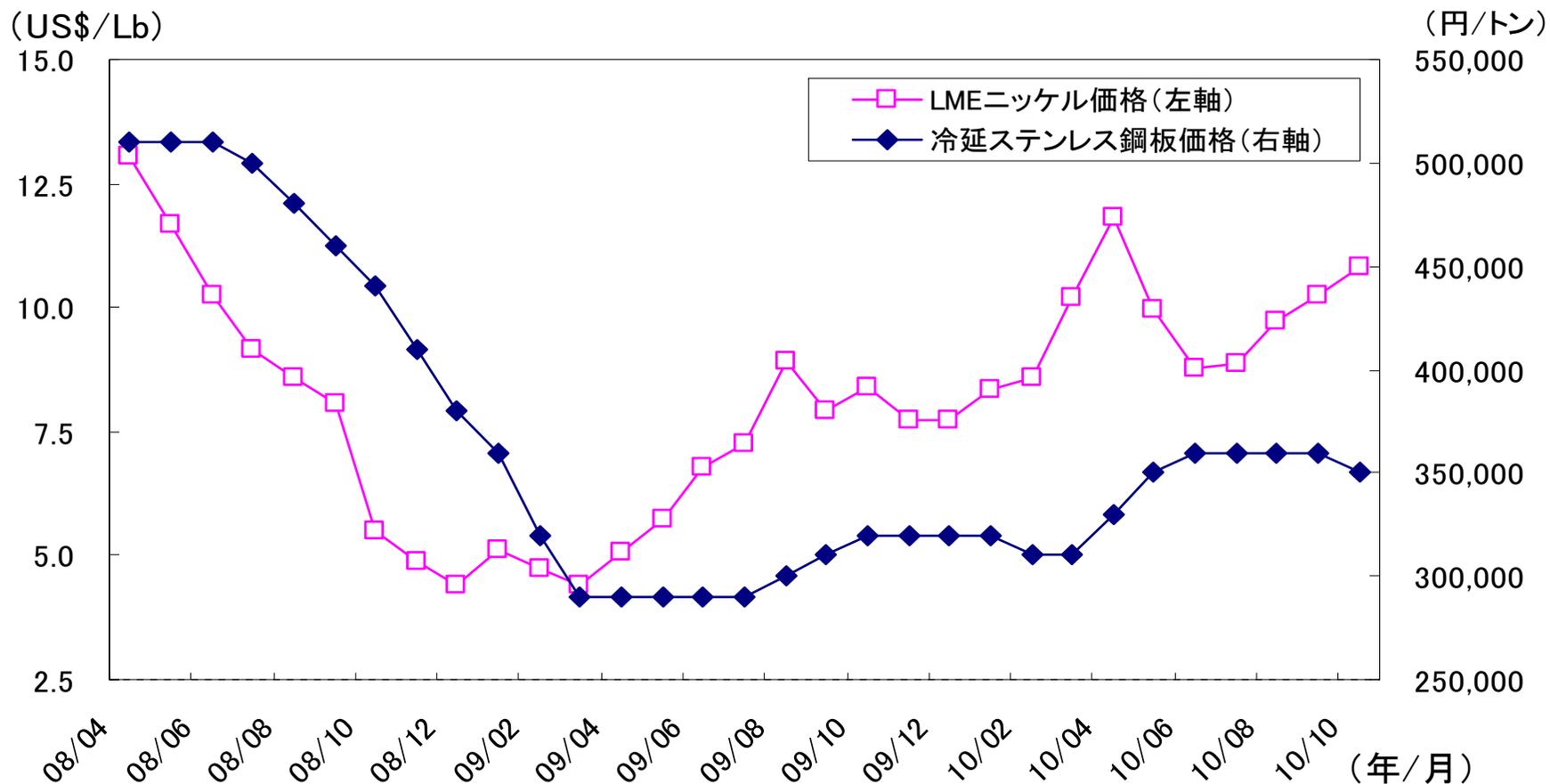


ステンレス一般材の状況

	(1)国内マーケット	(2)海外マーケット
今年度上期	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 年明けとともにニッケル価格の上昇をうけてマーケットは活発化 ✓ ゴールデンウィーク明けはニッケル価格が急落、マーケットは一気に冷え込み ✓ 自動車関連は期間を通じて好調ながら、建設分野をはじめとするその他重要分野の大半は低迷が続く 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 国内マーケットと同様に4月まではニッケル価格上昇によりマーケットが活発化 ✓ 加工後の主要な仕向け地である欧州諸国の低調をうけ、中国を中心としたアジアも勢いを欠く状態が続く
今年度下期見通し	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 流通、需要家ともにニッケル価格への反応が鈍く、在庫・仕掛を圧縮し、必要時に必要量のみ調達する動きが定着しつつある ✓ 上期末から厚板の小物件が散見されるようになってきていることがプラス材料 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 急速に需要拡大する要因が見当たらず、年度上期並みの活動レベルを予想 ✓ 上期と同様、中国を中心とした需要が主な牽引役

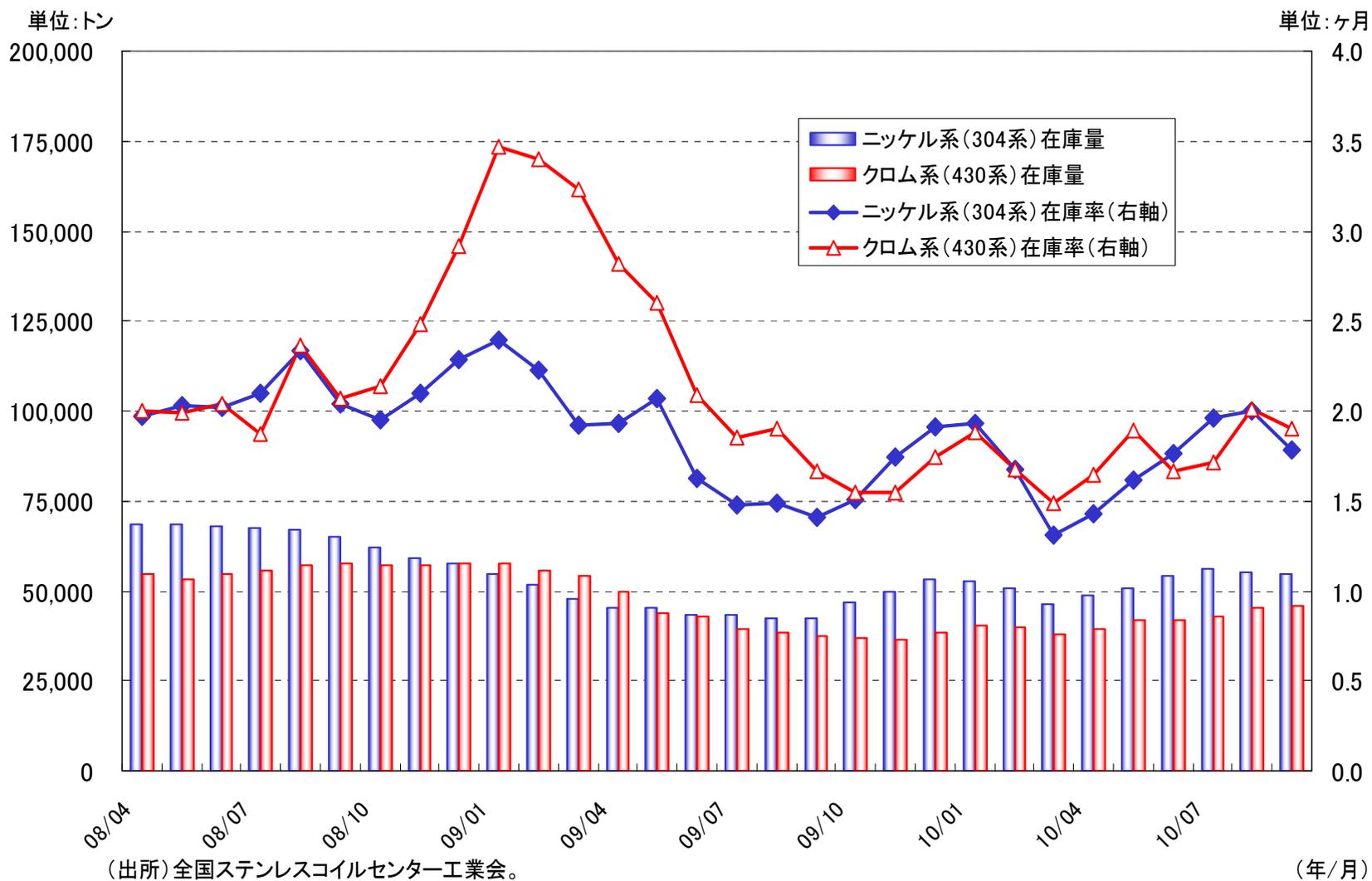
ニッケル・ステンレス価格の推移(月次)

➤ニッケル価格は5月に一旦下落するも8月から再上昇



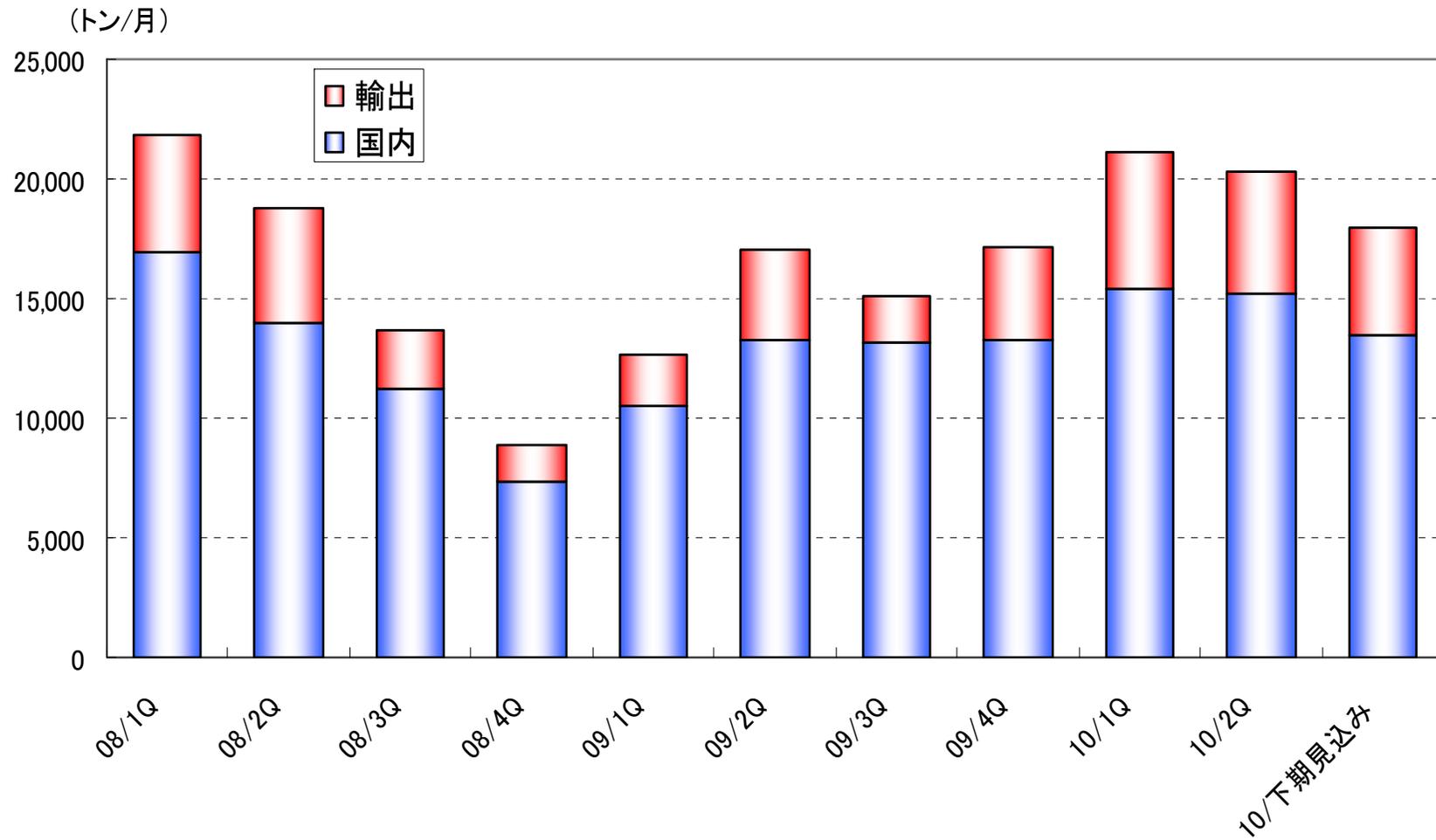
(注1) 冷延ステンレス鋼板:東京SUS304種18-8、2.0ミリ。
 (注2) 2010年11月の冷延ステンレス鋼板価格は直近。
 (出所) 鉄鋼新聞。

汎用ステンレス(ニッケル系・クロム系)在庫の推移(月次)



販売量実績及び見込み《ステンレス一般材》

➤ 2010年1Q、2Qとも2万トンを上回る販売量を達成するも下期は微減を想定

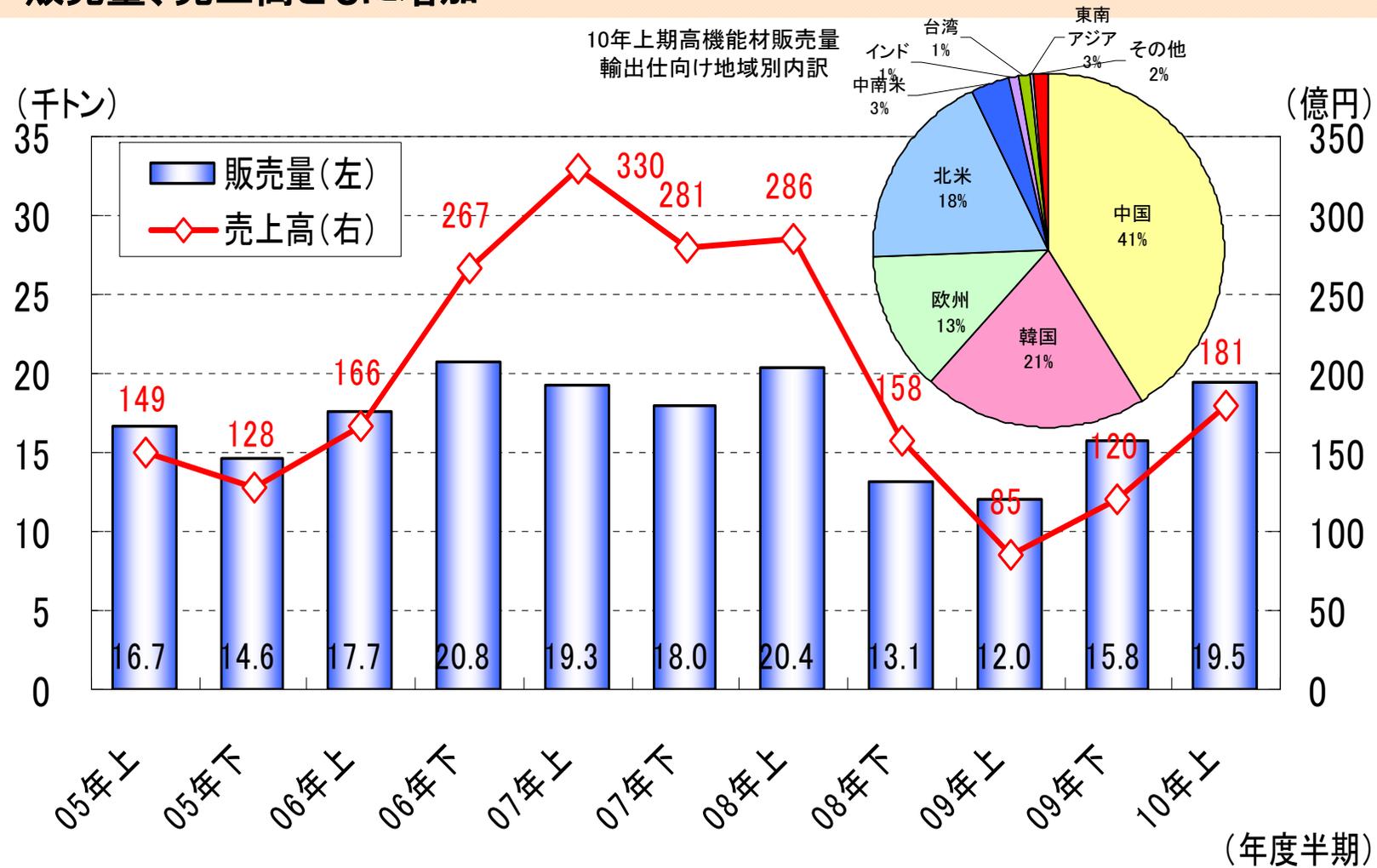


高機能材部門の状況

	(1)国内マーケット	(2)海外マーケット
今年度上期	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 業種によるばらつきはあるものの、国内外の景気回復により引合および需要は確実に回復 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 需要はアジアを中心に拡大基調にあり引合は活発 ✓ ニッケル価格が急変動するなかで、円高ドル安およびユーロ安により、欧州の競合先との価格競争が激化
今年度下期見通し	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 円高および景気刺激策の効果が一段落したことにより、先行き不透明感強い ✓ 「エネルギー」「環境」分野の国内及び海外市場を見据えた需要は、穏やかな回復基調が持続する見込み 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 円高及び欧米通貨安により、競合先との価格競争が続く ✓ エネルギー関連の需要増加に手応え ✓ 航空機関連需要の回復にともない、需給バランス好転が見込まれる

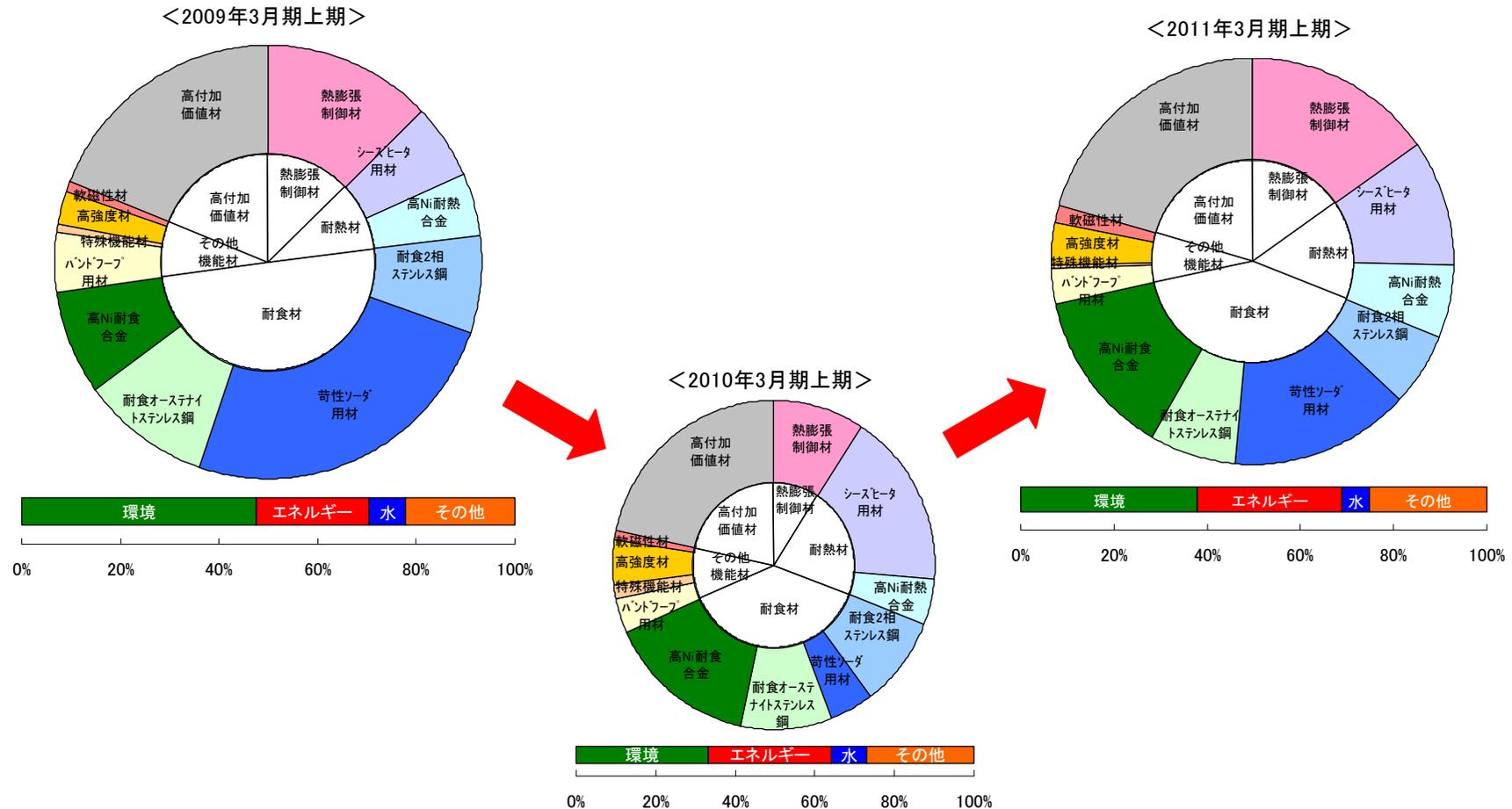
販売量及び売上高 《高機能材部門合計》

▶ 販売量、売上高ともに増加



高機能材部門の分類・用途別分類の構成比(売上高)

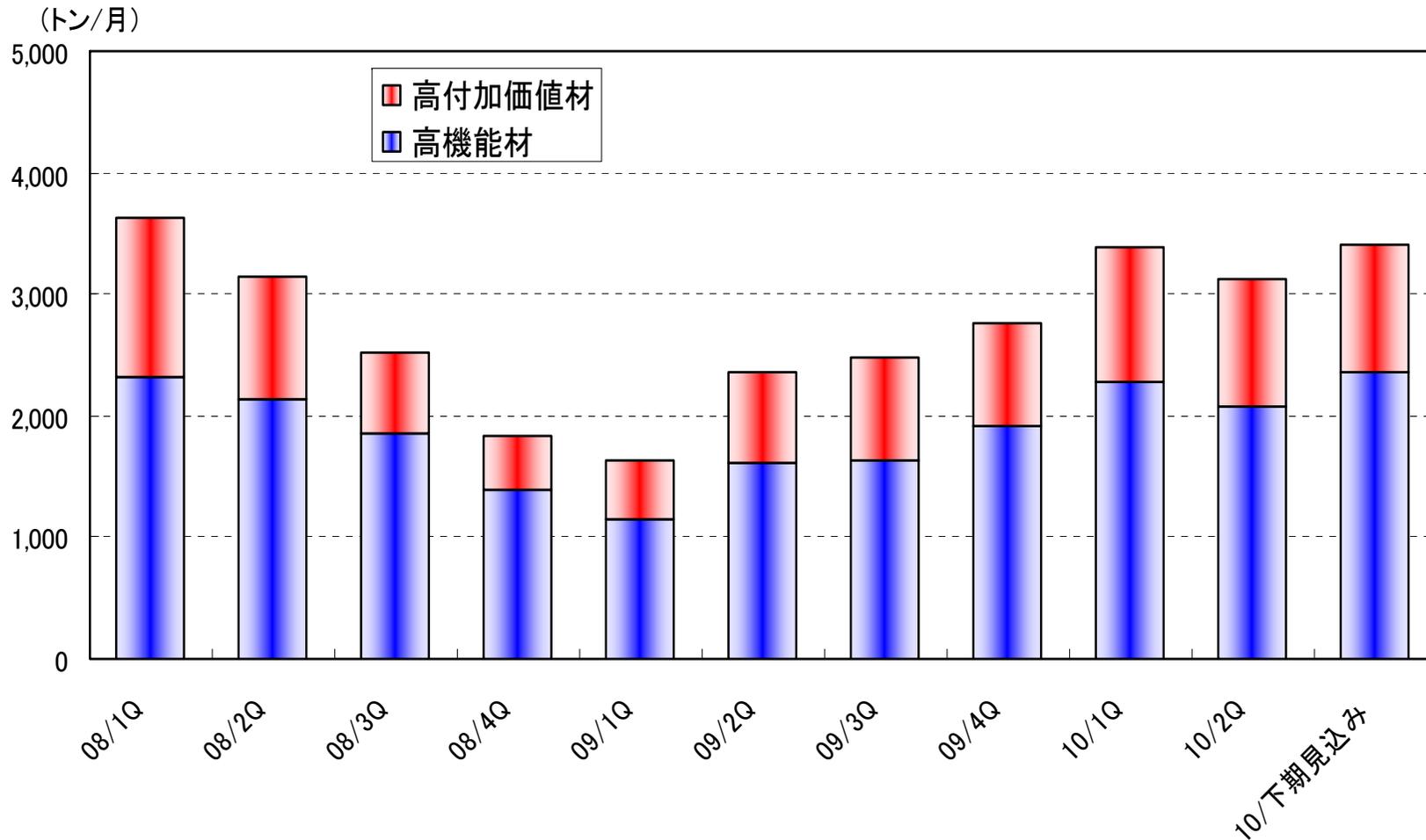
▶ リーマンショック前の売上規模及び販売構成に戻りつつある



(注) 下部の帯グラフは高機能材部門全体における需要分野別の割合を示す。

販売量実績及び見込み《高機能材部門合計》

➤ 2011年3月期下期も上期並みの販売量を見込む



拡販への取組み: 高機能材販売施策

▶ 海外市場への積極展開の更なる推進

- (1) 海外拠点の整備により、市場規模・動向・客先ニーズを把握し迅速に対応できる体制を構築
- (2) 新興国市場へのアプローチ強化(展示会等への積極参加)
- (3) 純ニッケル、鉄ニッケル合金の販売を強化(苛性ソーダプラント、LNG船・航空機・電子材料等)
- (4) 国内外でのアライアンスによる商品構成拡充とコスト競争力アップによる市場シェア拡大

米国現地法人設立に関するお知らせ

- 現在のロンドン、バンコク、上海に加え、高機能材の重要な市場である北米地域に進出することで、高機能材を販売する上でグローバルな営業体制を強化

- 名称:NIPPON YAKIN AMERICA, INC.
- 予定所在地:アメリカ合衆国イリノイ州シカゴ市近郊
- 代表者:未定
- 事業内容:ステンレス・特殊鋼・高ニッケル合金の市場調査及び営業・技術支援
- 従業員:数名程度
- 資本金:100,000米ドル
- 設立:2010年11月
- 出資比率:日本冶金工業株式会社100%
- 2011年3月期の当社連結業績及び単独業績への影響は軽微



連結子会社2社の合併について

- 合併期日：平成23年4月1日
- 宮津港運(株)を存続会社とする吸収合併
- 合併の目的：一体運営を図ることで大江山製造所内での荷役・設備保全作業の効率向上
- 2011年3月期の当社連結業績及び単独業績への影響は軽微

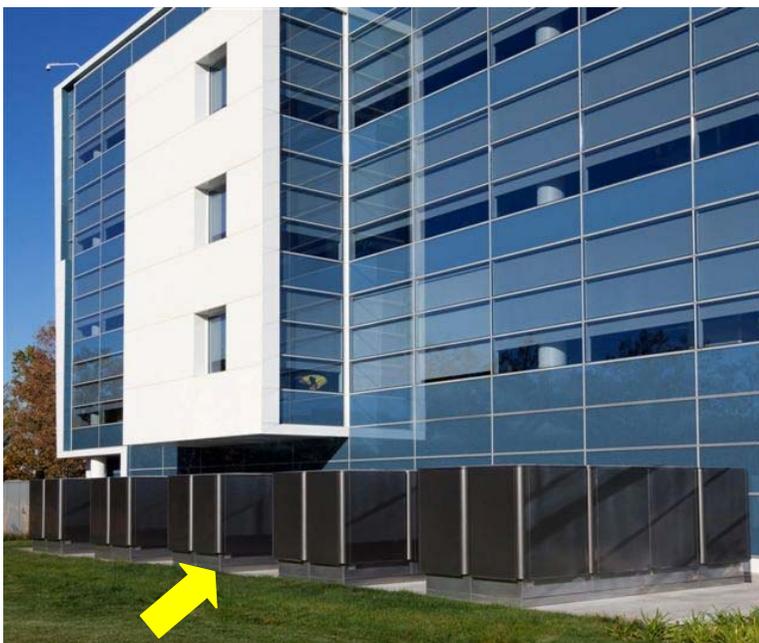
商号	宮津港運株式会社 (存続会社)	カヤ興産株式会社 (消滅会社)
所在地	京都府宮津市	京都府与謝郡
主な事業内容	港湾運送業、通関業	運送業、機械修理業
主な株主構成	日本冶金工業株式会社 100%	日本冶金工業株式会社 100%

高機能材紹介(1) 燃料電池

製品名 : 高ニッケル耐熱合金(鋼種名NAS800T、NAS601)

受注先 : 海外の熱交換器メーカー

用途 : 固体酸化物形燃料電池向け



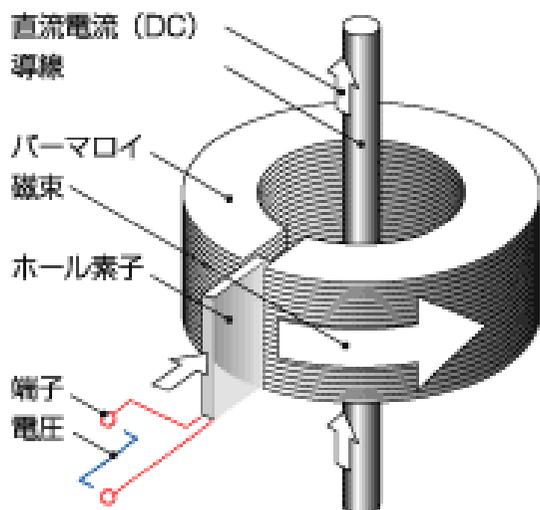
米国 BloomEnergy社 ご提供

- ・エネルギー問題、環境問題を解決する切り札として期待されている燃料電池は、一部実用化が開始されています。
- ・固体電解質形燃料電池(SOFC: Solid Oxide Fuel Cell)と呼ばれるタイプは、発電効率が高く、発電量も大きいのでオフィス、ショッピングモールなどの電源として実用化が進んでいます。
- ・SOFCは作動する温度が高温であるため、弊社の耐熱鋼、耐熱合金が使用されています。

・NAS 800T 板厚1.0~6.0mm

・NAS 601 板厚1.5~9.0mm

高機能材紹介(2) 電流センサー用パーマロイ合金コア



製品名 : 軟磁性合金(鋼種名NASPB、NASPC)

受注先 : 国内外の電子機器メーカー

用途 :

- ・ハイブリッド車や各種産業機器の直流電流センサー
- ・各種電子部品の磁気シールド
- ・電池式時計のムーブメント

・軟磁性合金は、外部から磁場を加えた場合に容易に磁石になり易い性質を持った合金です。純鉄(軟鋼)も軟磁性材料の一種で、電磁石の鉄心が身近に知られた代表例です。パーマロイと呼ばれるFe-Ni系の合金は、その磁石になり易い性質を極限まで高めた合金です。

・軟磁性合金の特性を最大限に引き出すために、当社ではコア技術である高Ni合金の高度な精錬技術、組織均質化技術を活かし、良好な磁気特性を持つ素材を供給しています。

・NAS PB および NAS PC 板厚0.35~1.0mm

高機能材紹介(3) 廃棄物焼却用キルン

製品名 : 高ニッケル耐熱合金(鋼種名NAS800H)

受注先 : 国内エンジニアリング会社

用途 : 汚泥処理炉



・炭素や水素を含む廃棄物を炭化、ガス化させ、そのガスを発電所に再利用しようという取り組みが進んでいます。その廃棄物焼却用キルンの胴体部分に耐熱性に優れたN800Hが使用されています。

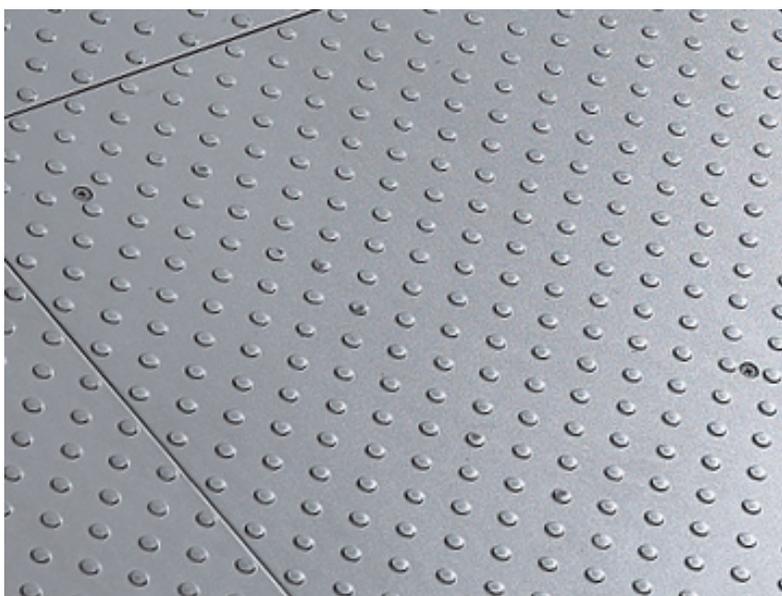
・NAS 800H 板厚18mm

高付加価値材紹介(1) ステンレス床用鋼板

製品名 : ナスポルカプレート(鋼種名NAS304)

用途 : 工場向け/薬品・食品工場の床・階段・架台、建築向け/階段・床面

土木向け/側溝蓋・車止め、車両向け/バスのステップ など



- ・耐食性、耐熱性、耐久性を持つNAS 304を素材としたナス・ポルカプレートは、表面にたくさんの丸型の突起がある、滑り止め効果に優れた床材料で、清掃性、排水性も高いのが特徴です。
- ・水玉模様状であることで、従来の縞鋼板に見られた、模様の方に沿わない動きに対する極端な抵抗がなくなり、キャスターを押すときの引っかかりも減ります。さらに凸部が丸い形状なので、清掃性、乾燥性に優れ、床掃除が簡単です。
- ・突起部分がソフトなので、長時間の立ち作業でも疲れ難く、女性のヒールでも違和感なく歩行できます。また丸型の突起の意匠性が与えるソフトな印象から、景観素材としても幅広く利用できます。

(特許 第2992021号)

・NAS 304 板厚3.0~6.0mm

配当について

▶ 2011年3月期第2四半期末の配当

第2四半期末の配当は誠に遺憾ながら見送ることとさせていただきます。

▶ 2011年3月期の配当予想額

経営環境は依然厳しく先行きへの不透明感があることから現時点では未定としております。今後の業績を見極め、開示可能になった時点で速やかにお知らせ致します。

本日のアジェンダ

1. 2011年3月期第2四半期決算サマリー

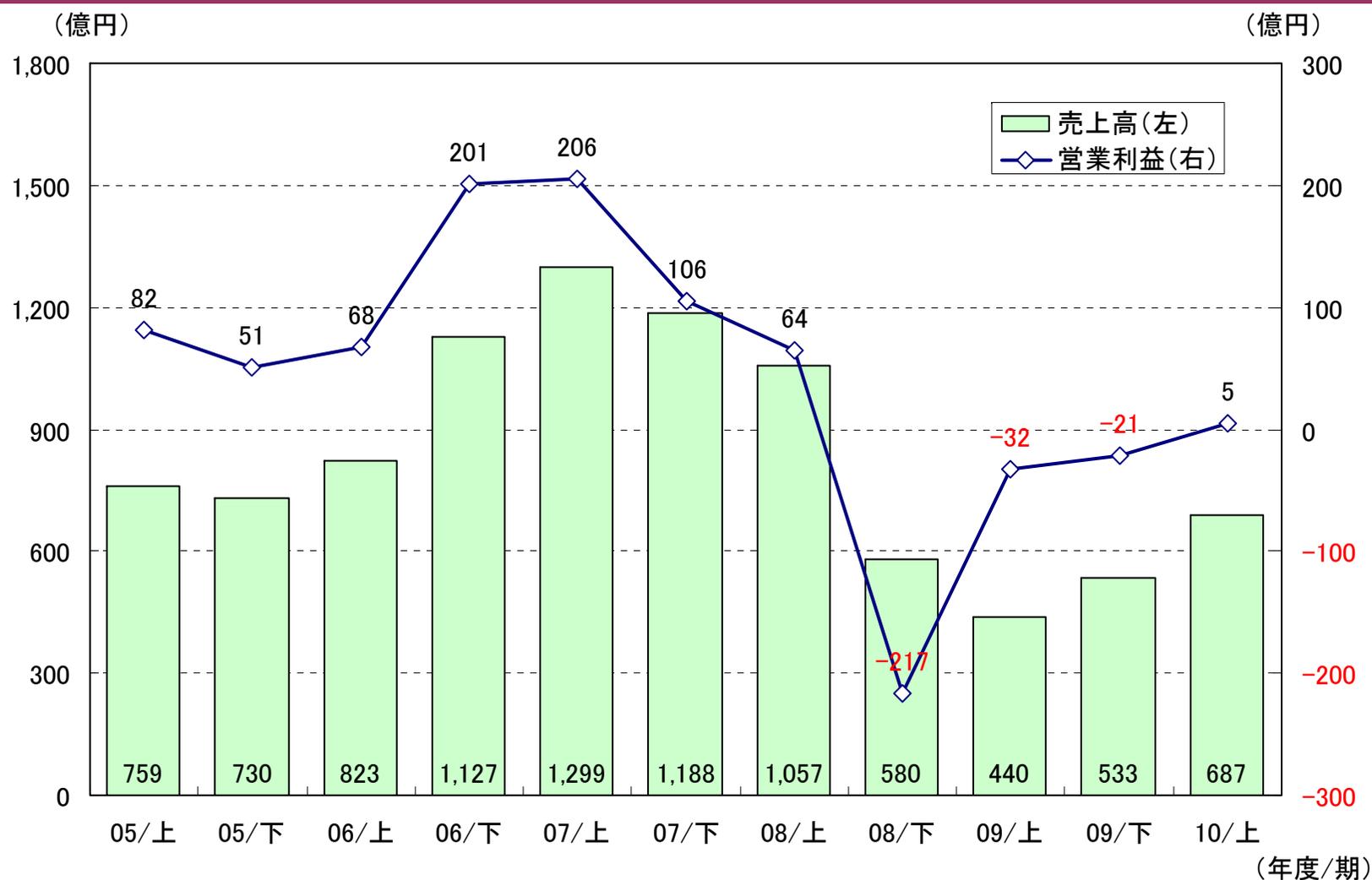
常務取締役経理部長 久保田 尚志

2. 足元の状況と高機能材への取り組み

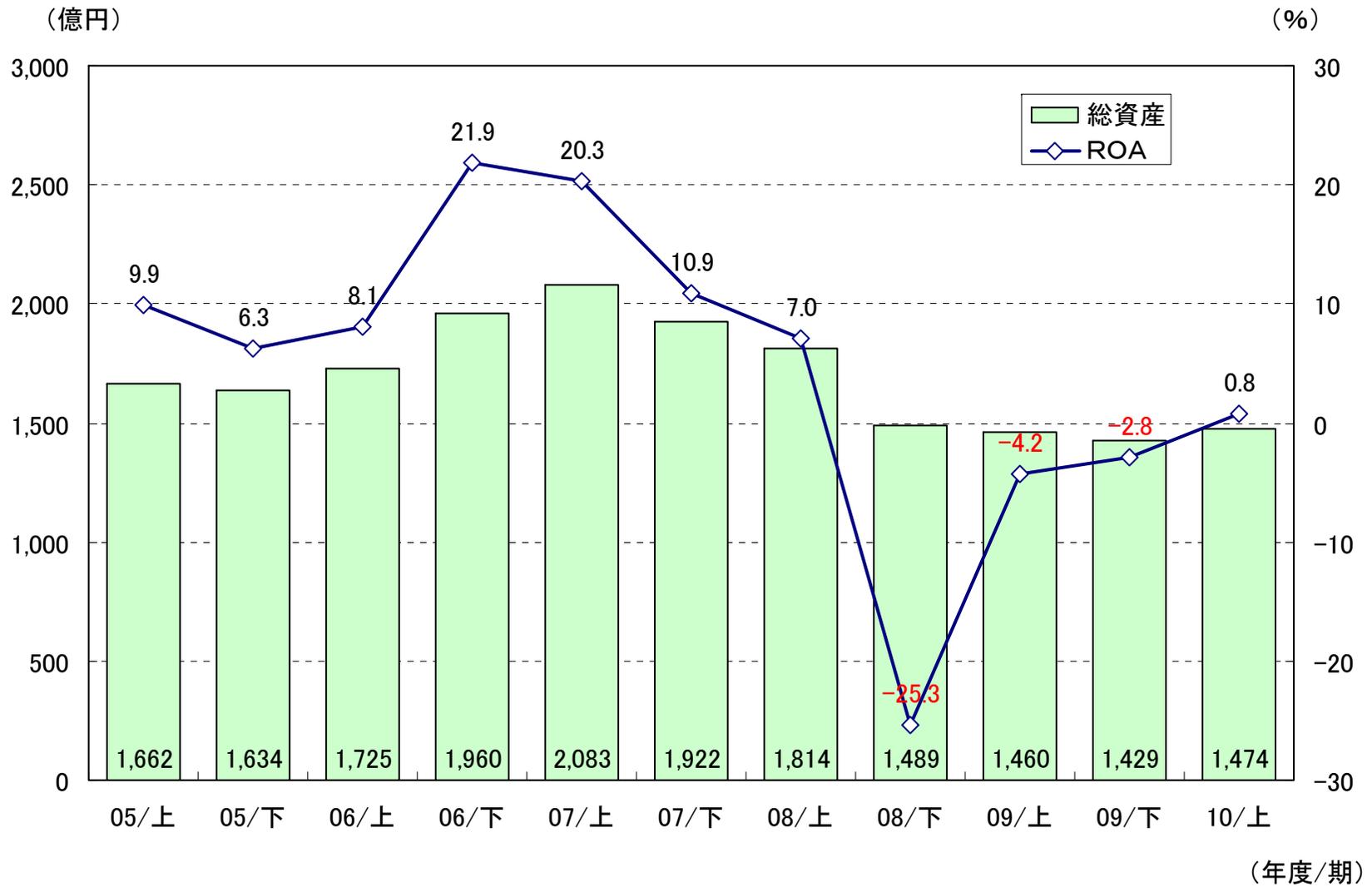
代表取締役社長 杉森 一太

<参考> 主要データ(連結ベース)

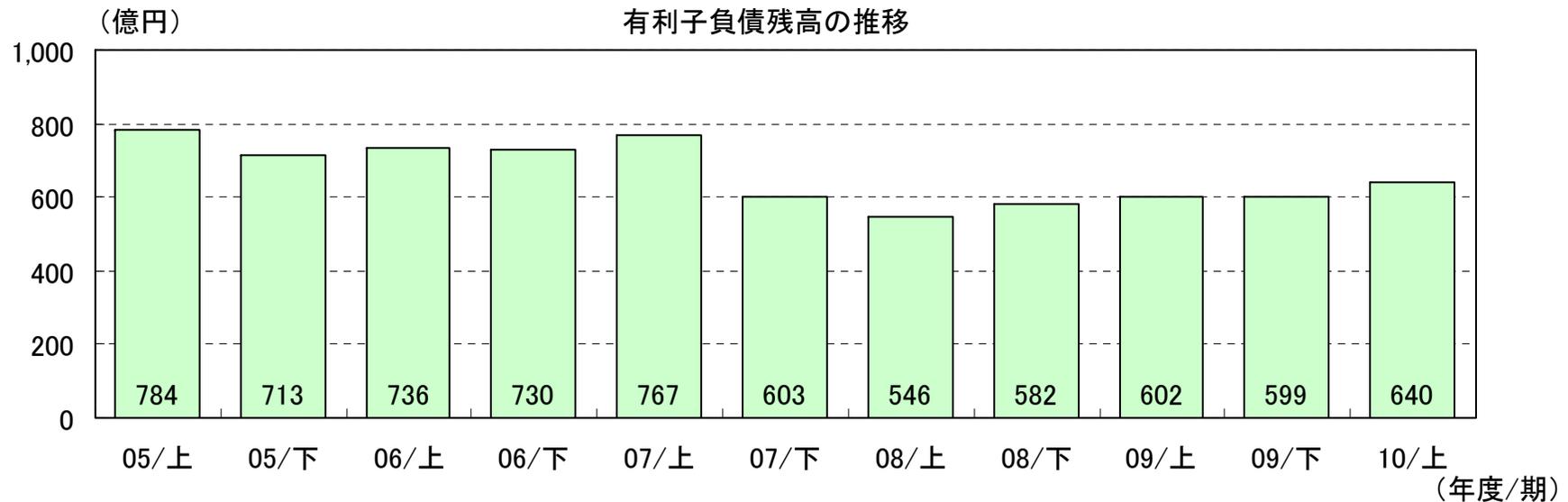
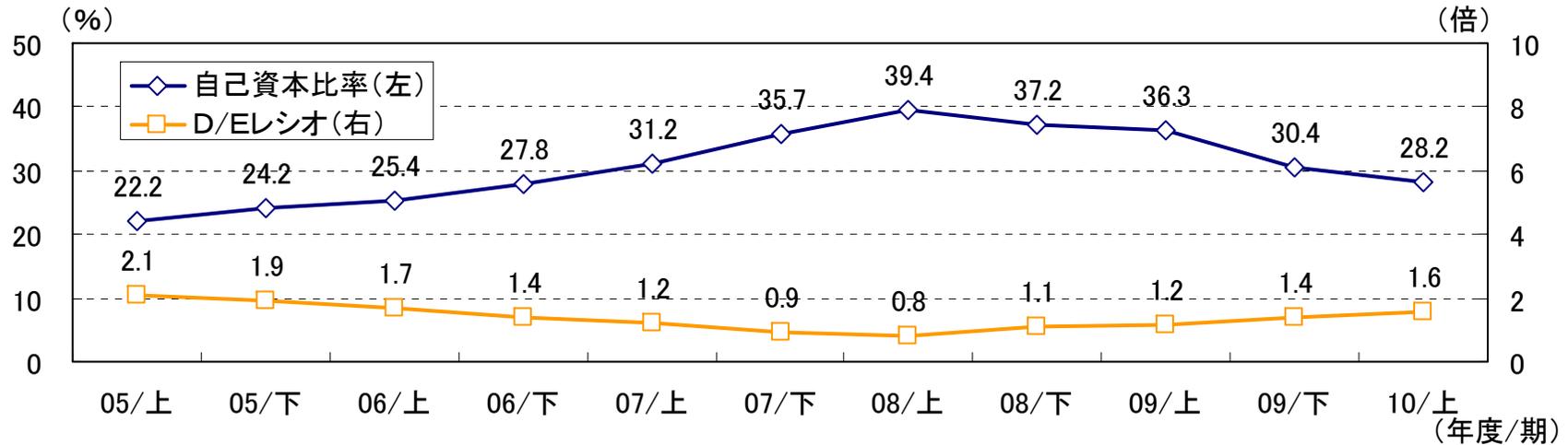
売上高・営業利益



総資産額・ROA

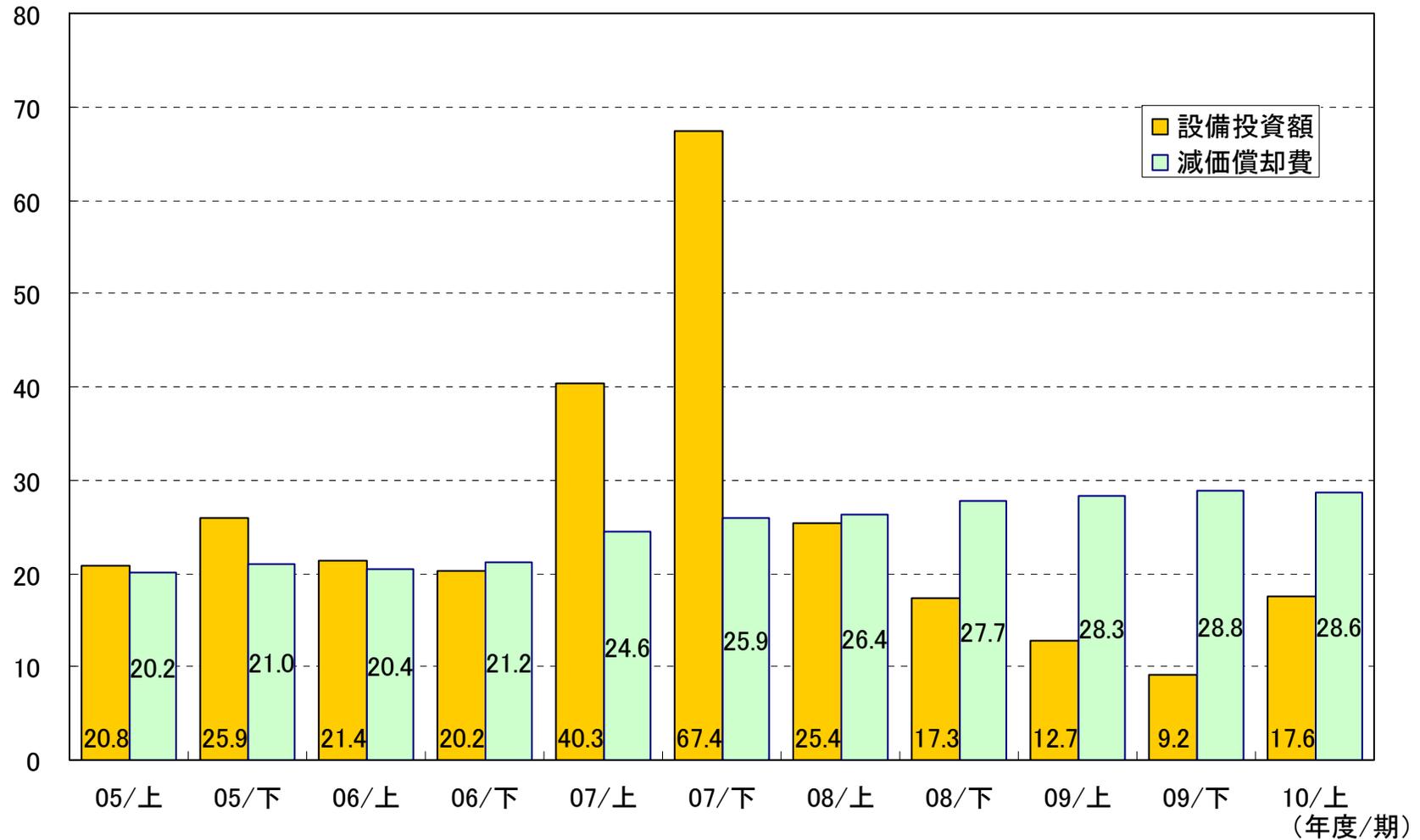


有利子負債残高と自己資本比率、D/Eレシオ



設備投資(連結ベース)

(億円)



歴史あるステンレスメーカーから新しいステンレス特殊鋼メーカーへ

日本冶金工業

本資料のいかなる内容も、弊社株式の投資勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料に掲載された計画や見通し、予測等は、現時点で入手可能な情報に基づいた弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切の責任を負いかねますので、ご承知下さい。

【本件に関するお問い合わせ】

日本冶金工業株式会社 IR事務局

Tel. 03-3273-3613 /

E-MAIL. irjimu@nyk.co.jp